



# なかがま

OHS OG & OB TOKYO

第25号  
平成17年

## 大湊の高校の輝かしい発展を目指して



校長 星 和 夫

芦崎湾を渡る風にも初夏の香りが感ぜられる季節となりました。

同窓会の皆様には日頃より本校の教育振興に對しましてご支援とご協力を賜り衷心より感謝申し上げます。

この四月菊池三千郎校長の後任として、川内高校から赴任して早二ヶ月となりました。私自身は当地の生まれではありませんが、教職の初任地がむつ市内の高校で、以来四〇年近くになります。ずっと市内で暮らしておりますので、大湊高校については、歴史と伝統を持つ地域の中核校として以前より関心を寄せておりました。生徒の様子もこれまで外から見ておりましたが、特にここ数年で変わってきたような気がいたします。これは中高一貫教育導入後五年、総合学科設置後四年が経過し、そのいずれもが当初の設置目的が定着し、特色ある教育を実践している学校として地域からも評価されてきている現われかとも思われます。生徒の制服も変わり、大湊高校が二十一世紀を迎えて新たな歴史を刻みつつあるとの印象が強くなったと思えます。

以前より部活動は活発ではありましたが特に近年の活躍には目覚ましいものがあります。過去に春季大会、秋季大会では県優勝の経験もあります硬式野球部は今年度は数年ぶりにベスト四まで進出することができました。準決勝では結果的には敗れてしまいましたが、甲子園出場常連校でもあります光星学院高校と対戦し八回を一对一で迎えるなど善戦といえる戦いぶりでした。現在部員数が五〇名と層の厚さをみせており、今年度も含め今後の活躍が期待されるところであります。また、陸上競技部も活躍が目覚ましく、先ほど行われました県高校総体では男子が総合第三位(優勝校とは僅か三点差)を獲得するなどこれまでになく活躍が見られました。個々の主な成績を見ますと棒高跳びが一位から三位まで本校の選手が占め、また男子走高跳びも一位、二位を占めるなど、その他男子二〇〇m、男子一〇〇mハードルでも第一位となるなどの活躍ぶりでした。陸上競技部も部員数が六〇名と硬式野球部同様選手層が厚く、これから行われる東北大会そして夏のインターハイでの活躍が期待されます。

るところであります。運動部では以上の二つの部以外の部も現在これから行われる高総体に向け一生懸命頑張っているところです。

一方、文化部も部員数四六名の吹奏楽部を始め、さまざまな部が活発に活動しております。特に今年度は全国高総文祭が七月二十七日から三十日まで本県各地で開催されることになっており、残念ながら昨年行われました県高総文祭で第一位等の入賞の部がなかったため今回の全国大会への出場は出来ませんでした。いくつかの部は準備の仕事で県内他の高校生とともに活躍して

### 随 想

### 渡米(太平洋航路) 一九六五・九・一〇

畑 中 皓 二 (5期 東京支部会長)

……夕暮れの横浜がもやの中に消え始めて、白い航跡が横浜港のほうに伸びている。先ほどまで数百人を見送り人と船とを繋いでいた。五色のテープが左舷の欄干に絡み付いて風にはためいている。綺麗とは言いがたい。東京湾の鉛色の水面に三角波が立ち、兎が走っている。甲板で別れを惜しんでいた乗船客も、三々五々ハッチを潜ってキャビンに降りていく。

夕靄の中に富士を求めて右舷方向を見たが、ぼやけた陸地が見えるだけ、左舷の房総の陸地も同じように、霞けている。目的地はサンフランシスコ經由ロスアンゼルス、ロスではア

ートセンタースクールに研修留学、そしてアメリカ全土の屋外広告デザインの視察。デツキに人影が無くなり、私も自分のキャビンに赴く。私のキャビンのランクはエコノミーの上クラス、上甲板から二階下がった中通りといった感じ、通りすがった人達と軽い挨拶を交歓して自分のキャビンに入る。既に同室のハワイの二世であるMさんがいて、私を迎えてくれた。

この部屋はハワイまで二人部屋で、ハワイからサンフランシスコまでは個室。Mさんと一通り挨拶して雑談をします。話によると彼は太平洋

おります。以上のように近年活躍が活発になり、その他総合学科での特色ある授業も定着してきておりますので、特に最近は大湊高校で「したい」という目的意識を持って入学してくる生徒が多くなっております。今後も生徒の能力と可能性をさらに伸ばし、地域や父母の方々の本校による期待に応えるような学校経営をさらに進めていきたいと思っております。同窓生の皆様の今後とも変わらぬご支援ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

もう一人日系ハワイ人がいた。彼、AさんはMさんとは反対の立場で、Aさんは元々純粋な日本人で、ハワイに留学後太平洋戦争勃発。日系部隊に志願してイタリア戦線へ。そして終戦。米軍の通訳として日本に進駐、その後情報部勤務。そして退役後ハワイ永住ということでした。この航路はハワイまで七日間でした。この二人、日本が好きで日系ハワイ人とハワイが好きな日本人でしたが、話をしたり、同席した姿を見ることができませんでした。

# ふるさと点描

佐々木 彦 蔵  
(7期・東京支部副会長)



「あずましい」「んぼほる」「しやっこい」「ちよべつと」「ねまる」「みったくなし」……五月下旬の某日、北海道阿寒湖から知床岬に向かう観光バスの中で熱いお茶が出た。その時配られた紙コップに『北海道の方言(?)』が印刷されていた。昔々の少年時代、わが郷里大湊で毎日使っていた言葉と同じものがいくつもある。懐かしくてコップを持ち帰ってきた。懐かしいといえはやはり風景である。大湊を離れて四十年近く、帰省するたびに市内のあちこちにカメラを向けてきた。

### ★ 兵主神社

上町の兵主神社の近くで生まれ育ったので、神社は格好の遊び場だった。特に社殿裏のうっそうとした林は薄暗くて、小学生のころは上級生と一緒にでなけ

れば怖かったのに、去年行ってみたら林そのものが無くなり住宅が建っていた。最寄りの稲荷神社も無くなり、稲荷さまの名を記した石碑だけが兵主神社の鳥居の左側に移設されていた。

### ★ 一本杉

大湊名物の一本杉も子供の日には巨木の印象が強烈だったのに、六十年経つても上には伸びず、老体風雪に耐えて頑張っているという感じだった。大湊小学校の校舎も校庭の海側に移り、桜の名木が全部無くなっていた。「後ろに高き釜伏山、前には広き安渡湾……」という校歌はど

### ★ 水源池

なアーチ型ダムの手前に大きな橋が架かるとかで基礎工事がはじまっていた。せつかくの景観が台なしになるのでは、と心配した。

### ★ 克雪ドーム

昔、原子力船「むつ」が接岸していた場所の向かい側に大きなドームが工事中だった。冬でも運動ができるようにという体育館だそうで、この秋に完成予定とか。下北駅近くの鉄橋の上列車の窓から望遠レンズを向けた。五月だというのに釜伏山の残雪の多さが印象的だった。

### ★ ネプタ

郷里での夏の風物詩といえはやはり「ネプタ」。昭和二十五年から8年間、連合青年団長としてネプタ合同連行の責任者をやらせて頂いた当方、自他共に認める「ネプタ男」。昨年も三日目最終日の夕方、全ネプタが集合する運動公園に行ってみた。そこそ豪華絢爛、形も色も素晴らしいものばかり。電動車に載せているので、昔のように額に汗して引く張ることもなく、夜間運行の途中でバッテリーが



上がって暗いネプタになる心配もなさそうだった。

### ☆

三泊四日の北海道観光は、大型バス6台、二百五十人を超えるツアーなので行動の自由が効かない。道内で「けつぱつてい」同級生には、各地のインターから電話した。釧路の有村亭、岩見沢の又村孝、札幌の布施むつ子と佐藤和直の諸君である。大平出身で途中転校した山本孝造君がぜひ会いたいと「ぼつかけ」てきたので、札幌大通り公園テレビ塔の下で会った。

## 東京生活アンケート No.20

第57期生のみなさんに、初めての東京生活についてのあれこれを探ってみました。以下、その概要です。(返信順)

⑥田舎に帰りたいと思ったことがありますか? ⑦大湊高校時代で一番印象に残っていることは何ですか? ⑧母校の後輩に言いたいことは? ⑨いま一番会いたい人は? ⑩その他、どんなことでも……。

■浜田直子 (埼玉県入間市) 「武蔵野音楽大学」

①無し。②無し。③一回。④いえ。⑤ありません。⑥毎日思う。⑦部活。⑧地元の友達。

■鴨田 梓 (東京都江戸川区) 「東京医薬専門学校」

①電車、地下鉄の種類がたくさんある。②アクセントが違うので最初は大変だった。③一回。④国家試験のベンキよう大変だけど、あとはきついとは思わな

い。⑤なし。⑥なし。⑦部活。(今はからだを動かす機会がほとんどないので…) ⑧高校でしかできないことがたくさんあるので、毎日楽しく過ごしてく

ださい。⑨同じクラスだった友達。⑩東京は思っていたより住みやすい。緑が少ない。もうすでに暑いので夏はエアコンなし

じゃ生きていけない。

■越善 論 (神奈川県相模原市) 「日本文化大学」

①人の数。気温。②ない。③三三三回。④あまり変わらない。⑤少し。⑥少し。⑦文化祭。⑧が

んばつくってください。⑨クラスメイト全員。

■菅野雄一 (神奈川県相模原市) 「横浜高等教育専門学校」

①特にない。②ない。③0回。④普通。⑤ない。⑥ない。⑦部活動。⑧今を楽しんで下さい。

⑨両親。⑩なし。

■藤澤一未 (東京都大田区) 「東京エアポートレストラン」

①人が多くて、ものが安くて、暑い。②とくにありません。③2回。④大変です。⑤かわりたいと思わないけど、寝る時間がほしいです。⑥あります。⑦大

高祭。⑧高校が一番楽しいよ。⑨金子先生!! ⑩とりあえず、東京に来て5kgは軽く太りました。怖い…。毎日楽しくやります。

■白井由佳 (千葉県八千代市) 「八千代リハビリテーション学院」

①夏でもないのにあつい。とけそう。あとは、人が多い。②ある。なまってるとかいわれる。ふつうに話してつうじないときがある。③二回くらい(よし

え)。④きついし、勉強むずかしい。⑤あるけど、がんばる。⑥ある。I(むつ。ity。⑦何でもないような毎日。⑧特になし。

⑨ママ。⑩Viva青森!!!

■富岡晋一郎 (東京都八王子市) 「東洋大学」

①空気がマズい。②特になし。③一五回くらい。④逆に楽しい。⑤ない。⑥ある。⑦甲子園予選。⑧目指せ甲子園。⑨野球部の友

達。

■村友紀奈 (埼玉県戸田市) 「大正大学」

①人の多さ(特に朝。通学の時の満員電車)。②特にありません。③忙しくて、会えて

いません。④やっぱり勉強はきついです。⑤ないです。⑥あります(四月の前半)。⑦大高祭⑧遠く離れている友達です。

# 大湊高校の佞武多

立花善裕

(19期・東京支部監事)



「大高祭」に佞武多を出すという企画の提案者、言い出しっぺは私であった。それまで展示中心のいささかマンネリ化した「大高祭」を画期的なものにしたい、町の人達がもっと沢山来てくれるようにしたいという意図があったのは確かであるが、それを大義名分にして佞武多を提案したのは私自身の個人的な思い入れによるものであった。その一つは運動会の仮装行列も

端を発するもので、当時大湊高校の運動会では昼食時にクラス別の仮装行列が行われており、二年生の時、私のクラスはこれも私の発案で、担任の先生の名前を拝借した「藤丸」という船屋台を造り、今考えると赤面ものタイトルであるが「斗南の祭」と称してグラウンドを曳き廻した。これが思ったより上手くいったもので、その時以来今夜は佞武多を造って町中を曳つぱり廻したいと思ひ、これが出るのは文化祭以外には考えられず、そのためには三年生になつたら生徒会の役員にならなくてはと思つていたところ、予定通り(?)事務局長になれた事である。さらには、三年生の夏休みに私は新聞奨学生の實習ということで東京で過ごしたため毎年出ていた本物の「佞武多まつり」に出れず、これが悔しかった事である。当時の生徒会事務局のメンバー

は、会長の田原雄一君、顧問長の祐川省治君と長久保美代子さんの三氏を中心に十数名だったが、どうにも名前が遺憾で来ない人がいるし、自分がどういう役割だったのかさえ忘れてしまっているのだが、兎も角「大高祭」の打ち合わせで私の提案は割と簡単に受け入れられ、前夜祭に佞武多を出すことになった。少ない予算であるし、時間の余裕もあまりないし、制作技術の問題もあり、初めての事でもあるし、佞武多にしようということとで制作に取り掛かった。まづは材料の調達であるが、紙や色は買わざるを得ないだろうが木材はどこかに提供してもらえないだろうかということになり、言い出した責任上交渉役を引き受け、当時大平にあった「石春製材所」に電話して主旨を説明し、ザツパでいいから提供してもらえないかとお願ひしたところ、快く快諾していただき、佐々木卓治先生運転の学校のトラックでさつそく頂戴が上がった。木材がそろつたところで制作に掛り、扇の形はだいたい見えてはきたものの肩部の弧を木で作るのは我々の技術では難しく、竹を使つてどうにか扇の形は出来た。しかし当初の計画の1・5倍位の大きさになつてしまつた。

さて、絵についてであるが、鏡絵(扇の前面のメインとなる絵)は祐川省治君が中心となり共同作業で仕上げたものである。佞武多の題材としては「水滸伝」と「三国志」が圧倒的に多いのであるが、その辺の知識が無い当時の我々が討論してみたところでは題材が掛かるはずもなく、なかなか取り掛かれずいたのであるが、結果的には祐川君が持つて来た津軽鮎の伍の蓋の絵を採用することにした。鏡絵だけに掛かりつきりになるわけにもいかず、聞き(扇を受ける逆さ台形の部分で通常は牡丹の花を描く)は作らなかつたものの、見送り袖絵、(見送り絵の両側の絵)、下額は描かなければならない。幸いにも佞武多師として有名な橋忠治氏のご息伸一君が同級生だったので、彼なら絵を描けるだろうと見送り絵を伸一君に描いてもらうことにした。橋君の見送り絵は秀逸でした。結局彼には完成まで手伝ってもらつた。

佞武多の照明は自衛隊に頼んだのか宇田青年団に頼んだのか記憶していないが、自衛隊に勤務していた剣道部の秋元先輩達が来て電球の配線をしてくれたように記憶している。運行当日に使つたバッテリーは自衛隊から借りたものである。台車は宇田のもの借りた。笛・太鼓は大平町内会へ自分で借りに行つた。衣裳は誰が手配してくれたのか覚えていないが、自衛隊のブルーのハッピと「むつ信」に浴衣を拝借した。いよいよ出発である。当初の予定では学校を出発した後、宇田の三叉路から下の道を通り、笛・太鼓を貸してくれた太平町内会、木材を提供してくれた「石春製材所」へのお礼の意味でも荒川まで行き、一杯飲んで県道を学校まで帰るつもりだった。しかし何しろ素人の運行であり、計画より大きく造つた事や折角の回転台を固定してしまつた私の失敗のためにあちこちつかえて予定通り進行できず、大湊駅着予定の時間にまた下町(浜町)にいるといつた状況で、ほとんど時間は押しつけて、新町の三叉路あたりまで来た時点で残念ではあつたが駅から引き返すことにした。私としてはどうしても荒川まで行きたかつたのであるが、大方自分の所為だと思つたとそれを主張するわけにはいかなかった。荒川までうんこうするといふ前宣伝が行き届いていたために、太平の人達からはその後暫く事ある毎に言われ続けたものだった。

いろいろな役割で協力してくれた人達も実は自分たちの佞武多という意識もつて参加したのではないかと思う。さらに嬉しかったのは町の人の多さがあつた。当時、私は笛を吹きながら道の両側で見物している町の人達を見て、その予想外の多さにびびくりしたし、非常に嬉しくもあつた。その後次第に盛大になり、これがきっかけで本物の佞武多制作者に成つた人もいるようで、言い出しっぺの私としては感無量である。ただ、百何十年と続いている「佞武多まつり」の言わば美味しい部分だけを拝借しているのは確かだろうし、それを忘れずに続けていってほしいものだと思う。「おことわり」紙幅の関係から、残念ながらいくつかのエピソードを編集者が割愛しました。多という意識もつて参加したのではないかと思う。さらに嬉しかったのは町の人の多さがあつた。当時、私は笛を吹きながら道の両側で見物している町の人達を見て、その予想外の多さにびびくりしたし、非常に嬉しくもあつた。その後次第に盛大になり、これがきっかけで本物の佞武多制作者に成つた人もいるようで、言い出しっぺの私としては感無量である。ただ、百何十年と続いている「佞武多まつり」の言わば美味しい部分だけを拝借しているのは確かだろうし、それを忘れずに続けていってほしいものだと思う。「おことわり」紙幅の関係から、残念ながらいくつかのエピソードを編集者が割愛しました。

思つていたら間違ひでした。テーブルの上にはサラダと言うより、細く切つただけのキュウリ、セロリ、人参やスライスオニオン、トマト、エシャロットなど山盛りは大皿に乗つていた。やがてフィリピン人のギャルソンが飲み物や料理のオーダーをとりきた。私と「失恋さん」はステキを注文、やがて一〇分位して出てきたステキを見てビックリ。なんと藁草履位のサイズで厚みは三センチ位ある。ナイフを入れてまたまたびびくり、なんと、血がギャルソンを呼んで、ウエルダンに焼き直してもらおう。……アメリカンシヨックが始まつた……

大湊高校卒業十年目のことでした。(次号へ続く)

# 母校だより

## ■総合学科第一期生の進路状況

去る三月一日、総合学科として初めての卒業生が大湊高校を巣立っていきました。人文科学・自然科学・情報表現・介護福祉・スポーツと5系列に分かれて勉強してきた一期生たちの進路について紹介いたします。

進路に関しては人文・自然科学系列は、今までの文系・理系という形態とあまりかわらないため、例年なみの大学短大等の進学でしたが、他の系列の生徒は勉強した内容をさらに深めたいということから専門的な分野への進学も目立ちました。また、

# 福原(大湊)が圧勝

## 男子棒高跳び



【男子棒高跳び】4.420で圧勝した福原裕哉(大湊)

総合的な学習「下北半島学」の研究やボランティア活動が認められて大学に合格した例もありました。

平成16年度卒業生進路状況(平成17年3月31日現在)

進学		就職	
国公立4年制大学	6	管内就職	15
私立4年制大学	32	県内就職	1
私立短期大学	17	県外就職	20
専門学校	71	公務員	1
看護医療専門学校	5	自衛隊	14
その他	1	その他	16
計	132	計	67



一方就職は、依然として厳しい状況にあるものの、内定率は昨年度よりも上昇しました。その要因の一つとして介護福祉系列の生徒は、福祉施設への就職、情報表現系列の生徒は事務職へとそれぞれの系列で学んだ知識を生かした職場への就職が目立ちました。

例えば、介護福祉の国家試験は八名が合格し、その内四名は地元の福祉施設への就職が決まりました。

総合学科での勉強は、彼らの進路達成に大きく貢献したものと考えます。

### ■下北半島学

本校では、総合的な学習の時間を「下北半島学」と呼び、地元の自然や歴史、文化、産業など様々な角度から研究し、下北への理解を深める学習を行っています。

学習場所は、教室だけに限らず、実際にの場所に出かけた

## テーマ：「下北半島に残るアイヌ文化」

11HR

～このテーマを選んだ理由～

アイヌ人が住んでいたと思われる形跡や遺物を調査し、「私たちの下北半島に残るアイヌ文化には、どのようなものがあるのか？」と興味をもち、このテーマに決定した。

### 1. アイヌの紹介

#### 1. アイヌ人とは？

縄縄時代(陸続きのとき)に「古モンゴロイド」が南から渡来してきて、縄縄文化を育んだ。これが後のアイヌ人とされている。しかし、弥生時代に北にいた「新モンゴロイド」が朝鮮半島を渡って日本へ渡り、勢力を強めていった結果、アイヌ人は、北(北海道・青森県周辺)、南(九州・沖縄周辺)、に追いやられてしまった。そこから、アイヌ人(縄縄人)・和人(日本人)・琉球人(琉球人)へとわかれたと考えられる。



縄縄後遺地  
約15万年～約1万年前  
(最終氷期後 約1万5000年前)



沖縄群  
約1万年前～の日本列島周辺

アイヌ人の起源は、「モンゴロイド」の他に「コーサツイド(白人)説」、「大洋州人種説」、「人種の混血説」、「古アジア民族説」などが唱えられた。現在では、「モンゴロイド説」が一番有力となっている。最近年のDNA鑑定で縄縄文化の時代の人たちがアイヌ人の祖先ではないかといわれている。

### 2. アイヌの道具

#### \*アイヌの衣服

アイヌの服装が入った首飾にはさまざまな名前がある。その中に厚巾(アツシ)というものがあてられ、調べた結果、下北には厚巾が200点程あるということがわかった。

これは厚巾という樹皮でできており、下北の川内町でも首飾られていた。また、本館で作られたものもあるという。その首飾を作ったところを調べてみると、川内川の上流川村の集落だった。このことで、アイヌの首飾はアイヌ人だけが作っていただけではなく、和人(下北の人々)も作って着ていたことがわかった。

しかし、アイヌの服装にはまだ、たくさんの種類がある。また、その家によって首飾の形状があるので厚巾以外のものについては、調べることができなかった。



厚巾(アツシ)



り、郷土料理を作ってみたりという活動を積極的に取り入れています。昨年度は、ナメコ・しいたけの栽培(写真上)、大間・尻屋・恐山・芦崎探訪、べこもち作り等を行いました。

た学習活動と言えるでしょう。〔写真左は平成一六年度「下北半島学」最優秀作品の一部です。〕

■部活動紹介  
◇五月一日から行われた県高校総合体育大会陸上競技において本校生徒の活動が目立ちました。

主な結果  
〈男子棒高跳び〉①福原〔写真上(東奥日報5月22日刊より)〕、②輪

島、③若狭  
〈男子走高跳び〉①鶴田、②工藤  
〈男子100m〉①塚田  
〈男子100m障害〉①井戸端  
〈男子八種競技〉①澤田  
〈女子やり投げ〉②飛内  
〈女子学校対抗得点〉  
③大湊高校  
◇第五八回憲法記念下北駅伝競技大会  
大湊高校女子チーム、三連覇達成!!

### 〔同期会だより〕

#### ■第五回あしき会海外旅行

六月三日から一〇日まで、五期一〇名と八期・二期など総勢一九名で成田を出発。主な観光先は、ボリクカブリ島、マテラ、アルペロベッロ、コゼンツァ、メッシーナ、タオルミナ、カタリーニヤ、バレルモ、モンレアーレ、アグリジェント、パレルモ、でした。

観光の先々では快晴に恵まれ、全員日に焼けて元気に帰還いたしました。

発行 青森県立大湊高等学校  
同窓会東京支部  
事務局 千葉県船橋市旭町  
千七三・〇〇四一  
六三三・二二〇

編集 富澤千里 (16期)  
編者 畑中皓二 (5期)  
印刷 有限会社戸田印刷

電話 〇四七(四三八)七八五六  
〒047-0388 大湊